



広島大学大学院
放射線災害復興を推進する
フェニックスリーダー育成プログラム シンポジウム

「災害復興下での医療共同をどう行うか」
—広島大学と南相馬市立総合病院との協力から—

本シンポジウムでは、東日本大震災発生後の惨状からどのように医療崩壊を食い止めようとしたのか、ナマの声を聴きます。被爆都市にある広島大学は様々なかたちで東北地方に支援を行って来ました。東日本大震災発生後 2 年半が経過し、さらに多くの課題を解決しなければなりません。

今回は、放射線災害に見舞われた福島県南相馬市立総合病院における保健学の分野での活動内容を検証し、現在の問題をまとめ今後いかなる活動が求められるかを話し合います。そして、広島大学放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムとの有機的な連携を推進するとともに、今後の災害に対して保健学の視点から提言をまとめます。

開催日時：平成 25 年 11 月 3 日（日） 10：00～15：30（受付 9：30～）

開催場所：グランドプリンスホテル広島 「瀬戸内」

（広島市南区元宇品町 23-1 / TEL：082-256-1111）

事前申込：広島大学放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページの入力フォームから申込下さい。（<http://www.hiroshima-u.ac.jp/lp/program/ra/>）当日参加も可能です。

定員：200 名

参加費：無料

講演

- | | |
|--------------|--|
| 【作業療法士の立場から】 | 嶋崎 寛子（福嶋リハビリテーション学院 専任教員） |
| | 宮口 英樹（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授） |
| 【理学療法士の立場から】 | 森山 信彰（広島大学大学院フェニックスリーダー育成プログラム 大学院生） |
| | 佐々木 理恵子（新潟リハビリテーション大学 助教） |
| | 前田 慶明（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 助教） |
| | 小野田 修一（南相馬市立総合病院 技師長補佐） |
| 【看護師の立場から】 | 森山 美知子（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授） |
| 【支援団体の立場から】 | 林 健太郎（日本プライマリ・ケア連合学会
東日本大震災支援プロジェクト PCAT
2011-2012 年度 チーフコーディネーター） |
| 【医師の立場から】 | 及川 友好（南相馬市立総合病院 副院長） |

総合討論

「南相馬・広島提言」

司会：岡本 哲治（フェニックスリーダー育成プログラム責任者、広島大学理事・副学長）

浦邊 幸夫（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授）

アクセス

【無料シャトルバス】

広島駅新幹線口・北口 9：10（発）→9：35（着）

【路線バス】

広島バス 21 号（宇品）線グランドプリンスホテル広島行

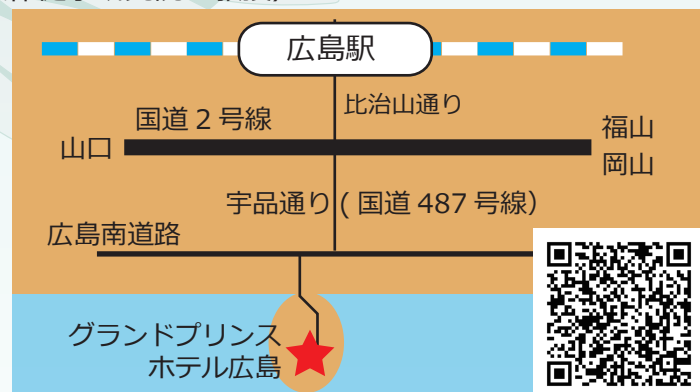
JR 広島駅より平常時 40 分

【自動車】

駐車場は無料で利用できます

詳細については、グランドプリンスホテル広島

ホームページ、または右の QR からご確認ください



主催：広島大学大学院放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

後援：広島県看護協会、広島県理学療法士会、広島県作業療法士会、広島大学晚霞会 他

お問合せ先



広島大学 教育・国際室コラボレーションオフィス

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

TEL：082-424-4676, 6152

E-mail: leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門

保健学分野 スポーツリハビリテーション学研究室

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

TEL：082-257-5405 FAX：082-257-5344

E-mail: yurabe@hiroshima-u.ac.jp (浦邊 幸夫)